

平成30年度使用小学校の教科用図書

選定委員会報告書

平成29年7月

平成30年度使用小学校教科用図書

選定委員会報告書

教科（ 特別の教科 ） 種目（ 道徳 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>全学年を通して、児童の心に訴え、しっかり考えることができる教材が使用されているとともに、考えを深化させる構成の工夫が見られる。問題解決学習を行うのに適している。また、今日的課題や人とのつながり、他教科との関連を意識したページも織り込まれているため、道徳の授業を様々な教育活動につなげやすく、道徳的実践力の育成を図りやすい。また、文字の大きさも適切であり、挿絵もイメージを広げやすいため、児童は教材の世界に入りやすい。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
11・学図	<p>「読みもの」と「活動」の2冊で構成されており、「読みもの」の構成がすっきりしている。「活動」は内容項目ごとにまとめられており、児童にとってわかりやすい。ただし、「読みもの」に対する発問が別冊になっていることで、扱いづらさを感じる面もある。「活動」の内容が多すぎるため、記入するスペースが限られてしまっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
17・教出	<p>新学習指導要領に即した内容構成とバランスのよい学年別配列であり、紙面構成も課題解決的学習の中で、道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。また、挿絵や写真も親しみやすい。ただ、5・6年での偉人関係の教材が多かったり、内容項目の、「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」の内容が少なかったりするなど、若干特色が強いため、学校の実態によっては指導の工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
38・光村	<p>新学習指導要領に即した内容構成になっており、低中高それぞれの発達段階に応じた教材が選定されている。また、対話を通して、多面的・多角的に捉える工夫も随所に見られる。また、年間を通して学習を振り返ることを意識して作られている。しかしながら、教材が難しい印象を受けたり、活字が小さく、イラストがやや控えめなため、児童の興味を引きにくかったりする印象は否めない。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

116・日文	<p>新学習指導要領に即した内容構成になっており、現代的な課題に関わる題材があり、現代社会の様々な課題を身近な問題と結びつけて考えることができるようになっている。問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習として取り組める工夫も随所に見られる。しかしながら、ノートに発問が示されている等、授業構成の自由度が低くなることも考えられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
208・光文	<p>道徳の学習の学び方を示したり、発問の工夫により主題に対する問題意識をもたせたりして、自己を見つめ、自己の生き方について考えを深める主体的・対話的な学習に取り組むことができるようになっている。また、現代的な課題を多く扱っているため、現代社会の様々な課題を身近な問題と結びつけて考えることができるようになっている。しかしながら、1ページにおける情報量が多く、複雑な印象を受けるページも見られる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
224・学研	<p>現代の社会や子どもを取り巻く課題を取り上げながら身近な話題を意識した教材が多く掲載されている。また、児童が考えを、広げたり、深めたり、実践に繋げたりできるように様々な工夫がなされている。しかし、発問にやや難しく考えにくいものが含まれていたり、挿絵のインパクトが強すぎたりして、児童が考えを広げにくくなるものも見受けられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
232・廣あかつき	<p>全体的にすっきりとしたデザインで見やすく、スポーツ選手を扱う等、児童の興味を引く教材も多い。また、発問が細かく設定されており授業が構成しやすくなっている。</p> <p>しかしながら、情報モラル教育に関する題材の難易度がやや高く、またノートに記入欄が足りない等、使いにくい部分が若干見受けられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>